

「警察大学校の施設管理業務」の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

- (1) 業務内容：警察大学校における施設管理業務（電気・機械設備の維持管理業務、警備・受付業務、清掃業務、植栽維持管理業務、映像・音響設備維持管理業務）
- (2) 契約期間：平成 24 年 4 月から平成 27 年 3 月までの 3 年間

2. 実施状況に関する評価

確保されるべき質・水準の設定項目すべてが達成。

(1) 快適性の確保

利用者の満足度アンケートにおいて、各年とも質として設定された「10 の質問項目について、4 段階の回答のうちの上位 2 段階以上の評価が 80% 以上」という目標を上回ること。

(2) 品質の維持

管理・運営業務の不備に起因する事故及び管理・運営業務の不備に起因する施設利用者の怪我の発生件数は 0 件であること。

(3) 各業務において確保すべき水準

上記 1.(1) の ~ の業務について、确实かつ適切に実施すること。

民間事業者から CO2 削減に伴う改善提案によるスポット空調等の導入、改修方法の提案による修繕費の削減及び構内の危険箇所への注意喚起の表示等事故防止等に資する改善提案がなされ、創意工夫が図られたとともに、良好な業務が実施された。

3. 実施経費に関する評価

実施経費の 1 年換算額は、従来の実施経費の 488,699 千円の約 69% に相当する 336,000 千円であり、1 年あたり 152,699 千円の経費削減（約 31%）となった。

4. 今後の事業について

本事業は、前回事業（平成 21～23 年度）に引き続き 2 回目の事業実施であり、前回同様、今回も良好な実施状況にあることが認められたところではあるが、実施状況についての外部有識者等によるチェックを受ける仕組みの整備が未定であることから、引き続き次期事業においても、民間競争入札を実施することが適当であると考えられる。次期事業の実施にあたっては、早期に外部有識者等によるチェック体制の整備を行うことが望まれる。

以上